



核兵器輸送出来る

戦争法案で中谷防衛相が認める

戦争法案廃案へ
力合わせてみましょう



中谷元・防衛相は5日の参院安保法制特別委員会で、戦争法案に基づき米軍などへの兵たん支援として、武器・弾薬の輸送をめくり、核兵器の輸送も「法文上は排除しない」と認めました。中谷答弁は、戦争法案がいかに危険なものであるかを明らかにしたもので、戦争法は廃案しかありません。

非核三原則は、国内を対象にしたもの
戦争法は海外を想定したもの



中谷防衛相は、「核兵器輸送は法文上は排除していない」と認めたものの、「わが国は非核三原則があるのでありえない」と述べ、核兵器輸送を否定しようとはしました。しかし、非核三原則は国内で「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」との原則。戦争法での武器・弾薬の輸送は、海外での「戦闘地域」を想定したもので、非核三原則の対象外といえ、中谷防衛相発言は、戦争法案の危険な内容を表したものであり、「戦争法案は廃案しかない」の声をさらに広がっています。

安倍首相あいさつ
非核三原則に触れず

安倍首相は、6日に行われた被爆70年の広島市での平和式典あいさつで、核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」とする国是の「非核三原則」について1994年以降、参列した歴代首相として初めて言及しませんでした。

前日5日の、中谷発言が、「核兵器の輸送」をありえない理由とした「非核三原則」を安倍自公政権がいかに軽んじているかを表したものであり、国民をばかにしています。

国民の批判の大きさに「長崎では触れる」と安倍首相は慌てていますが、国民は正体を見たりです。

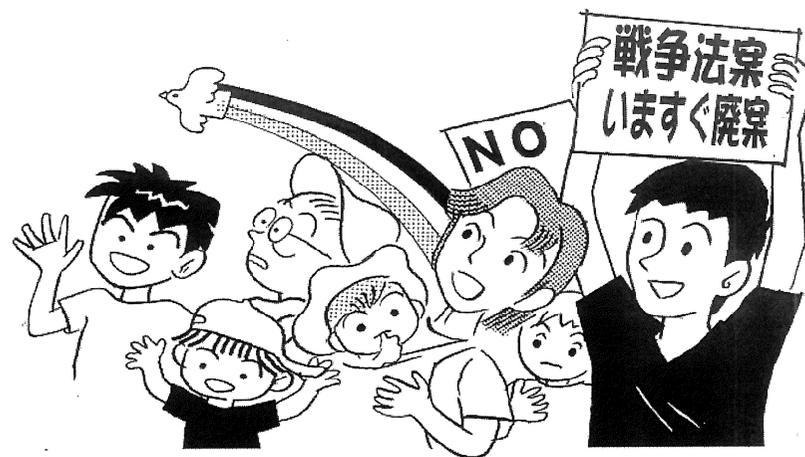
「戦争法」成立すれば
無制限に広がってしまう

今回の中谷発言は、戦争法が一旦成立してしまえば、米軍等への「兵站」（へいたん）活動は、無制限に広がることを明らかにしたものです。なんでも運べる。核兵器も運べる。戦争法案は廃案しかありません。廃案へ力を合わせましょう。



戦後70年・被爆70年の夏

やっぱり 戦争しない国 が好き!



310万人の日本国民の命と、2000万人以上のアジアの人々の命を奪った、15年戦争。その悲しみと反省の上に、「二度と戦争しない」と誓ったのが日本国憲法です。憲法があったから、この70年間、日本は「戦争しない国」として、戦争で人を殺し殺されることがありませんでした。私たち主権者・国民の声で、安倍政権がすすめる「戦争する国」づくりをストップさせましょう。

「ママは戦争しないと決めた」 「パパも戦争しないと決めた」 若いママパパも戦争法案反対の声

「だれの子どももこころさせない」とママたちも立ち上がりました。7月26日、渋谷では2000人のママパパがパレード。発起人の一人は、「命がけで産んだわが子を戦争にとられてたまるかという思いです。戦前、参政権のなかった女性たちは、声を上げることができなかった。いま、私たちは声を上げ、行動するとき」と呼びかけました。

衆院強行採決に国民の怒り沸騰

自民・公明両党は、7月16日、憲法違反の戦争法案を、国民の声を無視して、衆議院で強行採決しました。強行採決は国民にあらたな怒りと不安を呼び起こし、採決後、安倍政権の支持率は急落しています。国民の声で、安倍政権を追い詰めて、参議院で必ず廃案にしましょう。

憲法学者も、弁護士も、元法制局長官も、 「この法案は憲法違反だ」

憲法9条は、きっぱりと交戦権を否認し、武力の行使を禁じています。戦争法案に書かれている、戦闘地域での「武器使用の拡大」や、「後方支援」という名の兵站活動は、明らかに「武力の行使」であり、憲法違反です。日本が参加するPKO活動として「治安維持活動」や「駆けつけ警護」も認めようとしています。これも「武力の行使」につながるものです。日本が攻撃されていないのに他国の防衛のために戦う「集団的自衛権行使」も歴代の政府が「憲法違反」としてきたものです。

憲法違反の法案は無効です。廃案しかありません。

9条を生かした平和外交こそ、日本を守る！

集団的自衛権を行使して、他国の戦争に参加すると、その敵国から日本が攻撃されることとなります。また、テロ集団から狙われることにもなります。他国間の戦争に巻き込まれるなんてゴメンです。武力に頼らない平和外交こそ、日本を本当に守る道です。

戦争法案は、
参議院で必ず廃案に！